

# 第 23 期

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

## 営 業 報 告 書



株式会社  
山梨食肉流通センター

山梨県笛吹市石和町唐柏 1028 番地

## 経 営 理 念

- ・ 食肉の流通拠点として社会に貢献するため、顧客満足度の向上に努める
- ・ 社会の変化に対応し、常に改革・進歩を目指した経営姿勢を貫く
- ・ 誠実さと礼節を貴ぶ人材を育成するとともに、社員の生活安定を図る

# 報 告 書

第23期営業報告書、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動  
計算書及び個別注記表について別紙のとおり報告します。

平成26年 6月 20日

株式会社 山梨食肉流通センター

代表取締役 貴志和男

常務取締役 山里直志

常務取締役 松林 修

常務取締役 岩野秀夫

取締役 堀井幸憲

取締役 梶原一明

取締役 桜井和巳

取締役 駒井文彦

取締役 相川勝六

# 営業報告書

自 平成25年 4月 1日  
至 平成26年 3月31日

## 1 営業概要

### (1) 情勢

#### 【景気動向】

平成25年度（以下「当年度」）当初は、新政権の大胆な金融緩和政策により円安が急速に進み、自動車など大手輸出企業の経営環境は大幅に改善されました。

輸出関連の大企業の業績改善に対し、主に外国投資家による日本株の買い越しが進み、株価の上昇が年末まで続きました。このような中で高所得層による高額商品の売上げが伸び、百貨店の営業成績も昨年度に引き続きわずかに回復傾向を示しました。

また、年度後半には消費税増税を見越した駆け込み需要が、景気を押し上げる結果となりましたが、この一連の動きを大企業、中堅企業、中小企業に分けて日銀短観による業況判断から見ていくと、大幅な金融緩和政策による円安の効果は年度初めから大企業・中堅企業の業況判断の回復をもたらしましたが、中小企業にはその効果が及ばず、消費税増税に向けた駆け込み需要が始まった年度後半から業況判断の回復が見られました。

日銀短観では、26年度第1四半期の中小企業の業況判断がマイナス4～6に低下すると予測しています。

#### 【食肉の生産・流通の概要】（全国）

牛肉 当年度の国内に於ける生産は、肉専用種及び乳用種が減少したことにより、前年度比1.6%減少しましたが、輸入量は、BSEに関する月齢条件の緩和や円安による景気回復による外食需要の増大を見込んだ輸入などにより5.9%増加しました。その結果、推計消費量（出回り量）は1.1%増加しました。

当年（年次）の家計消費の金額は5.6%増加し、消費量も2.1%増加し、平成23年の放射能汚染の影響により大幅に減少した消費量の回復傾向がみられました。しかし26年1月以降は消費量の減少傾向がみられます。

牛枝肉の卸売り価格は、24年11月以降の回復傾向が当年度も継続し、年度通算ではA5が前年を6.4%上回る2,176円、A3が12.8%上回る1,758円、交雑種ではB3で11.3%上回る1,260円、B2で13.3%上回る1,135円と下位等級ほど価格が大きく回復しました。

豚肉 当年度の豚肉の生産は、1昨年からの増加傾向を引き継ぎ対前年比1.2%増加し、輸入は2.0%減少、加工向けがやや増加したことにより、出回り量はほぼ前年度と同じとなりました。

家計消費については、金額は前年比5.0%増加し、消費量も3.6%増加しました。

豚枝肉の卸売価格（東京）は、「上」が前年を11.6%上回る496円、「中」も前年を16.3%上回る466円と高値で推移しました。これは、消費の増加に加えて、円安による輸入価格の上昇、米国の輸出が韓国を中心に増加し現地価格が上昇したこと、厳格な輸入審査など複数の要因が重なり、輸入数量が減少したことが要因として考えられます。

#### 【肉畜経営の概況】（全国）

平成23年7月以降、セシウム汚染された牛肉が市場に出回ったことや、ユッケによる食中毒事件により24年10月まで牛肉の卸売価格が低迷していたが、11月以降価格の回復が見られ、当年度は年度当初からこの状況を受けて、肉専用については、肥育経営安定特別対策事業の肥育牛補てん金の交付がなかった。一方、交雑種、乳用種は当年も全期間を通じて補填金が交付されました。

当年度の肉用牛肥育経営は、肉専用種を中心に卸売価格が回復し、ある程度の業績の改善が図られたが、肉用牛経営全般に、飼料価格の高止まり、肥育もと牛価格の高騰などによる懸念材料が払拭されず、先行きの不透明感が飼育頭数の減少という形で新たな問題点を惹起しています。

養豚経営については、前年同様、出荷頭数の増加傾向が続き、生産頭数は前年を1.2%上回り、卸売価格も、輸入の減少、消費量の増加などによって前年度比10%以上の大幅な上昇となりました。

しかし、年度末から豚の流行性下痢（PED）が発生し、全国的な大流行の兆しを見せているなかで、養豚経営者にとっては新たな経営リスクとなっています。

肉用牛肥育経営および養豚経営ともに、当年度は販売価格の回復が見られ、業績の改善が見られましたが、円安や消費増税等による生産コストの上昇と、各種貿易交渉による今後の安価な食肉の輸入増加という経営リスクを克服しなければならない大きな課題を背負わされた年でもありました。

#### 【食肉卸売市場の取引価格】（山梨：年度平均）（単位：税込み円/kg）

畜種	牛枝肉			豚枝肉	
	A5	A3	B2	上	中
平成24年度	2,002	1,475	1,041	450	415
平成25年度	2,166	1,715	1,207	513	485
参考（東京）	2,156	1,731	1,143	496	466

注：東京の牛枝肉は去勢

【牛・豚の集荷状況】

牛の集荷 放射能汚染による市場価格の下落などにより、前年まで2年連続して減少した集荷頭数が当年度は対前年比5%弱回復しました。しかし県内からの入荷は前年を7%下回り、引き続き減少傾向を示しましたが、これは後継者がなく廃業となったケースや、交雑種の肥育素牛確保の難しさから肥育頭数を減少せざるを得なくなったなどの理由が考えられます。

一方、県外からの入荷は前年を18%上回りましたが、新規出荷者や関西への出荷から一部回帰したものなど、長野県からの出荷が増加分の大半を占めました。

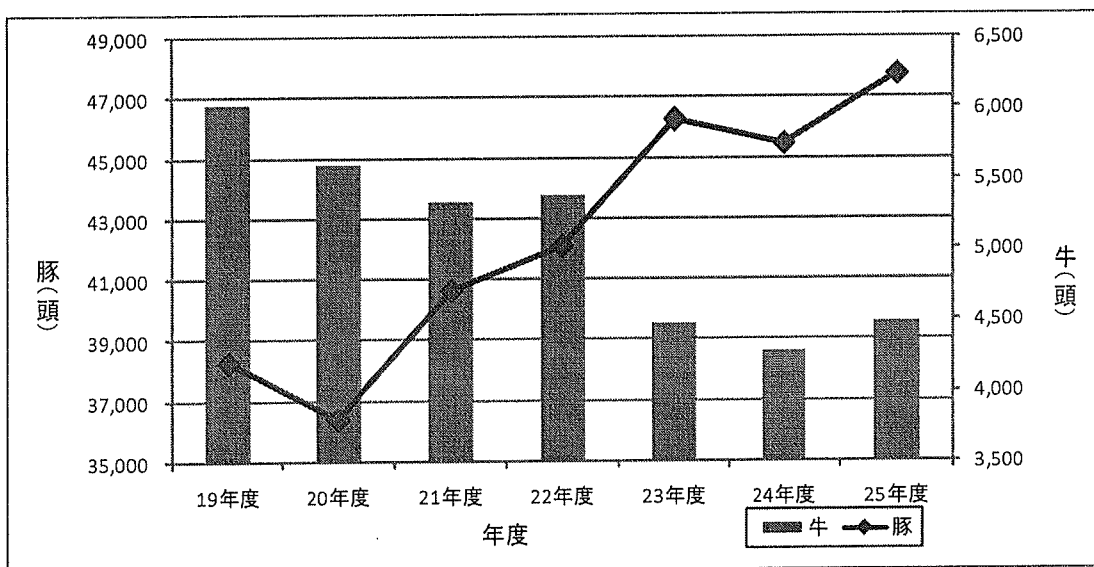
年度後半から、肉専用種の肥育素牛の市場価格が高騰し、肥育農家は素牛の確保が困難な状況となっています。

豚の集荷 取扱頭数は前年度を5.1%上回りましたが、県内産は3%減少、県外産が16.6%増加となり、この増加分は静岡県と栃木県の大口出荷者で、ほとんどが上場豚となりました。

【 牛・豚の集荷状況 】

単位：頭数

集荷実績	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
牛	6,025	5,608	5,342	5,388	4,469	4,277	4,481
豚	38,302	36,430	40,642	42,125	46,269	45,487	47,789



## (2) 業績の概要

当年度は、当年度からの3年間を計画期間とする第3次中期経営計画(Safety and Eco Plan)の初年度として、

- ① より安全な食肉の提供 (ISO22000 (以下「FSMS」という。) 認証取得により、安全な食肉を提供するマネジメントシステムを構築する。)
- ② より安全な経営の実現 (コンプライアンスとガバナンスをさらに強化し、財務体質の強化を図る。)
- ③ 地球環境に優しい経営の実現 (継続的に節電に取り組み、資源循環、自然エネルギーの活用を積極的に行う。)

に取り組みましたが、FSMSの認証は、当年度12月2日に認証登録され、①から③の項目についてFSMSに沿ったマネジメントシステムで推進しました。

結果としては、当期利益必達目標である、当期純利益2000万円を達成することができず、平成19年度以降中期経営計画に基づく経営改善に取り組み始めて最初の実質的な赤字決算となってしまいました。

この要因としては、大震災後の電力料金の大幅な値上げや、円安誘導などによる輸入資源の高騰などに対応できる経営体質になっていなかったこと。さらに、牛や豚の市場価格(仕入れ価格)の急騰に販売価格が追いつかない、原料高製品安の状況から脱却できなかつたことなどがあげられます。

この状況を踏まえ、当年度第4四半期から、と畜料など各種料金の見直しや、新たな手数料の検討など取り組み、26年度当初から顧客の皆様には新料金に御協力をお願いいたくとともに、浄化槽管理費はじめ各種経費の削減に取り組んでおります。また、新銘柄豚の取引条件設定に当たっては、当社が過剰な負担を負うことなく、品質に応じた適切な評価が行われるシステムを構築するよう、積極的に働きかけていきます。

## (3) 主要事業の概要

### 1) 卸売市場の運営

豚の上場頭数は29,272頭で前年度より2,513頭(9.4%)増加し、市場価格の上昇もあり、上場手数料は、前年度比26.1%増加しました。

牛の上場頭数は4,207頭で前年度より99頭(2.4%)増加し、市場価格の回復も加わり、上場手数料は前年度比10.7%増加しました。

豚と牛の上場手数料の合計では、前年度を14,853千円(15.2%)上回る112,306千円となりました。

### 2) と場使用料及び と畜解体料

豚の取扱頭数は47,789頭で前年度より2,302(5.1%)頭増加、と畜解体料

収入は前年度より 3,760 千円 (5.4%) 増加し、73,497 千円となりました。

牛の取扱頭数は 4,481 頭で前年度より 204 頭(4.8%)増加、と畜解体料収入は前年度より 1,803 千円 (7.0%) 増加し、27,686 千円となりました。

豚、牛、馬、羊合計のと畜解体料収入は、牛・豚と畜頭数の増加、馬の減少により、前年度より 3,084 千円 (3.0%) 増加し、106,695 千円となりました。

### 3) 買付販売

- ・ 豚枝肉・生体の販売益については、頭数、売上高共に前年を大きく上回りましたが、昨年度と一変した「仕入れ高、販売安」傾向が、年度を通じて継続し、対前年度比 63.1%と大幅に減少しました。

- ・ 部分肉等についても、取扱量、取扱高共に大きく増加したにも拘わらず、仕入れ価格に販売価格が付いていけずに対前年度比 65.8%と苦戦しました。

特に銘柄豚のセリ市場において、購買側の要求を十分に満足しない枝肉を当社が買い支えなければならない状況から、これら枝肉のパーツ販売に苦勞したことなどにより、豚部分肉の販売益は前年度比 44%と大幅に減少しました。

- ・ 内臓については、取扱量がやや増加したものの、豚の内臓（白物）の販売不振により、販売益は前年をやや下回りました。

この結果、買付販売全体の販売益は前年を 2 千万円(14%)下回る 123,640 千円となりました。

### 4) 枝肉加工

加工頭数は、前年度比で豚が 2.3%増加、牛が 5.97%増加、馬が 8.2%増加し、収益は合計で前年度やや増の 93,586 千円となりました。収益の増加率はやや低下しましたが、今後も当社が市場で買い上げた枝肉の加工に加え、県内外の購買者や実需者の要求に応えた安全性の高い加工業務を行っていくことが求められます。



平成25年度営業実績

株式会社 山梨食肉流通センター

区分		頭数			取扱高 (千円:税抜)			手数料 (千円:税抜)			
		25年度	24年度	前年比	25年度	24年度	前年比	25年度	24年度	前年比	
上場 手数料	豚	29,272	26,759	109.4%	1,031,088	817,466	126.1%	36,074	28,599	126.1%	
	牛	4,207	4,108	102.4%	2,178,117	1,967,310	110.7%	76,232	68,854	110.7%	
	馬	0	0		0	0		0	0		
	小計	33,479	30,867	108.5%	3,209,205	2,784,776	115.2%	112,306	97,453	115.2%	
と場 使用料 及び 畜 解体料	豚	上場	28,967	26,431	109.6%	43,118	39,021	110.5%	43,118	39,021	110.5%
		一般	18,822	19,056	98.8%	30,379	30,716	98.9%	30,379	30,716	98.9%
		計	47,789	45,487	105.1%	73,497	69,737	105.4%	73,497	69,737	105.4%
	牛	上場	4,235	4,136	102.4%	25,721	24,743	104.0%	25,721	24,743	104.0%
		一般	246	141	174.5%	1,965	1,140	172.4%	1,965	1,140	172.4%
		計	4,481	4,277	104.8%	27,686	25,883	107.0%	27,686	25,883	107.0%
	馬	上場	0	0		0	0		0	0	
		一般	655	950	68.9%	5,502	7,980	68.9%	5,502	7,980	68.9%
		計	655	950	68.9%	5,502	7,980	68.9%	5,502	7,980	68.9%
	緬山羊	17	18	94.4%	10	11	90.9%	10	11	90.9%	
小計	52,942	50,732	104.4%	106,695	103,611	103.0%	106,695	103,611	103.0%		
内臓 処理料 (一般)	豚	7,246	4,304	168.4%	5,505	3,204	171.8%	5,505	3,204	171.8%	
	牛	0	14		0	15		0	15		
	馬	655	1,472	44.5%	983	1,798	54.7%	983	1,798	54.7%	
	その他	1	9	11.1%	1	7	14.3%	1	7	14.3%	
	小計	7,902	5,799	136.3%	6,489	5,024	129.2%	6,489	5,024	129.2%	
買付 販売	豚枝肉・生体	10,121	9,310	108.7%	363,791	305,420	119.1%	7,965	12,631	63.1%	
	牛枝肉	726	569	127.5%	243,845	169,806	143.6%	1,042	-293		
	部分肉等t	1,017	936	108.7%	713,635	584,733	122.0%	29,051	44,126	65.8%	
	内臓 t	2,332	2,273	102.6%	163,125	165,906	98.3%	85,582	87,224	98.1%	
	小計				1,484,396	1,225,865	121.1%	123,640	143,688	86.0%	
枝肉 加工	豚	27,436	26,820	102.3%	67,739	68,883	98.3%	67,739	68,883	98.3%	
	牛	866	818	105.9%	24,838	23,216	107.0%	24,838	23,216	107.0%	
	馬	53	49	108.2%	1,009	907	111.2%	1,009	907	111.2%	
	その他				0	0		0	0		
	小計	28,355	27,686	102.4%	93,586	93,006	100.6%	93,586	93,006	100.6%	
冷蔵庫 保管料	上場豚	805	2,166	37.2%	81	217	37.3%	81	217	37.3%	
	上場牛	4,207	4,108	102.4%	1,138	1,111	102.4%	1,138	1,111	102.4%	
	その他		11		0	6			6		
	一般物	1,762	1,321	133.4%	728	693	105.1%	728	693	105.1%	
	小計	6,774	7,606	89.1%	1,947	2,027	96.1%	1,947	2,027	96.1%	
合計				4,902,318	4,214,309	116.3%	444,663	444,809	100.0%		

## 2 株主総会および取締役会

(1) 定時株主総会 平成25年 6月 21日開催

総会日現在株主総数	4 名	
出席株主数	実際に出席した株主	3 名
	代理議決	1 名
	計	4 名

議事及び議決事項

- |       |  |          |
|-------|--|----------|
| 第1号議案 | 第22期営業報告承認の件                               | (原案承認可決) |
| 第2号議案 | 第22期決算報告(貸借対照表、損益計算書、個別注記表、株主資本等変動計算書)承認の件 | (原案承認可決) |
| 第3号議案 | 第23期役員報酬決定の件                               | (原案承認可決) |
| 第4号議案 | 借入金限度額決定の件                                 | (原案承認可決) |

(2) 臨時株主総会 平成25年 4月 1日開催

総会日現在株主総数	4 名	
出席株主数	実際に出席した株主	1 名
	代理議決	3 名
	計	4 名

議事及び議決事項

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 第1号議案 | 役員選任の件 | (原案承認可決) |
|-------|--------|----------|

臨時株主総会 平成25年 7月 17日開催

総会日現在株主総数	4 名	
出席株主数	実際に出席した株主	1 名
	代理議決	3 名
	計	4 名

議事及び議決事項

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 第1号議案 | 取締役選任の件 | (原案承認可決) |
|-------|---------|----------|

(3) 取締役会議決事項及び役員会協議事項

開催年月日	議決事項
平成25年4月1日 第1回 取締役会	1) 役付取締役の選任について 2) 取締役の順序について
平成25年6月12日 監査会	1) 第22期 営業状況及び決算監査
平成25年6月21日 第2回 取締役会	1) 第22回定時株主総会の開催について 2) 第22回定時株主総会提出議題について 1. 第22期営業報告承認の件 2. 第22期決算報告の承認の件 3. 第23期役員報酬決定の件 4. 借入金限度額決定の件 3) 業務分掌規定の改定について
平成25年7月10日 第3回 取締役会	1) 取締役の選任について
平成25年12月27日 第4回 取締役会	1) 平成25年度上期営業成績について 2) 当面の経営改善方策について
平成26年3月26日 第5回 取締役会	1) 平成26年2月までの営業成績について 2) 平成26年度事業計画について

3 株 主

平成25年 3月31日現在

株 主 名	株 数	金 額
山 梨 県 知 事 横内 正明	3,000	15,000 万円
農畜産業振興機構理事長 佐藤 純二	2,400	12,000 万円
全農経営管理委員会会長 中野 吉實	1,500	7,500 万円
山梨県食肉業界代表 堀井 幸憲	1,500	7,500 万円
計	8,400	42,000 万円

4 役 員

(1) 役員の変動

区 分	期 首	増 減		期 末
		期中就任	期中退任	
取締役（常勤）	1	1	1	1
取締役（非常勤）	7	8	8	7
監査役	3	1	1	3
計	11	10	10	11

(2) 取締役および監査役

(平成26年 3月31日現在)

役 名	氏 名	備 考
代表取締役	貴志和男	山梨県職員OB（元農政部畜産課長）
常務取締役	山里直志	山梨県農政部長
常務取締役	松林 修	全農山梨県本部副本部長
常務取締役	岩野秀夫	株式会社岩野社長
取 締 役	堀井幸憲	甲府畜産株式会社取締役
取 締 役	梶原一明	全農山梨県本部管理部長
取 締 役	桜井和巳	山梨県農政部畜産課長
取 締 役	小野光明	山梨県農政部果樹食品流通課長
監 査 役	山本一之	全農山梨県本部生活農畜産部長
監 査 役	渡邊重也	株式会社渡邊畜産社長
監 査 役	磯部芳彦	磯部公認会計士事務所所長

## 5 社員

区分		期首職員数			期中増加			期中減少			期末職員数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総務部	正社員	2	2	4			0		1	1	2	1	3
	嘱託	1	0	1			0	1		1	0	0	0
	パート	1	2	3			0		1	1	1	1	2
	計	4	4	8	0	0	0	1	2	3	3	2	5
経営企画室	正社員	0	1	1	1		1	1		1	0	1	1
	嘱託	0	0	0			0			0	0	0	0
	パート	1	1	2		1	1	1		1	0	2	2
	計	1	2	3	1	1	2	2	0	2	0	3	3
営業部	正社員	10	1	11		2	2	1	1	2	9	2	11
	嘱託	0	0	0			0			0	0	0	0
	パート	2	1	3	1	1	2		1	1	3	1	4
	計	12	2	14	1	3	4	1	2	3	12	3	15
業務部	正社員	15	2	17	1	1	2	1		1	15	3	18
	嘱託	3	0	3			0			0	3	0	3
	パート	4	0	4	1		1			0	5	0	5
	計	22	2	24	2	1	3	1	0	1	23	3	26
加工部	正社員	9	2	11		1	1	1	1	2	8	2	10
	嘱託	0	0	0			0			0	0	0	0
	パート	1	0	1			0			0	1	0	1
	計	10	2	12	0	1	1	1	1	2	9	2	11
合計	正社員	36	8	44	2	4	6	4	3	7	34	9	43
	嘱託	4	0	4	0	0	0	1	0	1	3	0	3
	パート	9	4	13	2	2	4	1	2	3	10	4	14
	計	49	12	61	4	6	10	6	5	11	47	13	60

(参考)

平成25年度 肉牛の共進会(共励会)及び市場の開催

開催月日	市場	行事	頭数
平成25年 4月 4日	第1回肉牛枝肉市場	甲州牛出荷組合研究会	86 頭
平成25年 4月 11日	第2回肉牛枝肉市場		89 頭
平成25年 4月 18日	第3回肉牛枝肉市場		80 頭
平成25年 4月 25日	第4回肉牛枝肉市場		79 頭
平成25年 5月 9日	第5回肉牛枝肉市場		61 頭
平成25年 5月 16日	第6回肉牛枝肉市場	信州和牛出荷組合研究会	81 頭
平成25年 5月 23日	第7回肉牛枝肉市場		60 頭
平成25年 5月 30日	第8回肉牛枝肉市場		64 頭
平成25年 6月 6日	第9回肉牛枝肉市場		79 頭
平成25年 6月 13日	第10回肉牛枝肉市場		84 頭
平成25年 6月 20日	第11回肉牛枝肉市場		97 頭
平成25年 6月 27日	第12回肉牛枝肉市場		83 頭
平成25年 7月 4日	第13回肉牛枝肉市場	第1回センター主催共励会	90 頭
平成25年 7月 11日	第14回肉牛枝肉市場		76 頭
平成25年 7月 18日	第15回肉牛枝肉市場		64 頭
平成25年 7月 25日	第16回肉牛枝肉市場		82 頭
平成25年 8月 1日	第17回肉牛枝肉市場	山梨県肉畜鶏卵共進会	93 頭
平成25年 8月 8日	第18回肉牛枝肉市場		81 頭
平成25年 8月 22日	第19回肉牛枝肉市場		53 頭
平成25年 8月 29日	第20回肉牛枝肉市場		76 頭
平成25年 9月 5日	第21回肉牛枝肉市場	信州和牛出荷組合研究会	79 頭
平成25年 9月 12日	第22回肉牛枝肉市場		76 頭
平成25年 9月 19日	第23回肉牛枝肉市場		73 頭
平成25年 9月 26日	第24回肉牛枝肉市場		78 頭
平成25年 10月 3日	第25回肉牛枝肉市場	甲州牛出荷組合研究会	85 頭
平成25年 10月 10日	第26回肉牛枝肉市場		72 頭
平成25年 10月 24日	第27回肉牛枝肉市場		106 頭
平成25年 10月 31日	第28回肉牛枝肉市場		89 頭
平成25年 11月 7日	第29回肉牛枝肉市場		97 頭
平成25年 11月 14日	第30回肉牛枝肉市場		109 頭
平成25年 11月 21日	第31回肉牛枝肉市場		103 頭
平成25年 11月 28日	第32回肉牛枝肉市場	第2回センター主催共励会	102 頭
平成25年 12月 5日	第33回肉牛枝肉市場	JA 梨北農協共進会	115 頭
平成25年 12月 12日	第34回肉牛枝肉市場	信州和牛出荷組合共励会	119 頭
平成25年 12月 19日	第35回肉牛枝肉市場		92 頭
平成25年 12月 26日	第36回肉牛枝肉市場		20 頭
平成26年 1月 9日	第37回肉牛枝肉市場		81 頭
平成26年 1月 16日	第38回肉牛枝肉市場		75 頭
平成26年 1月 23日	第39回肉牛枝肉市場		82 頭
平成26年 1月 30日	第40回肉牛枝肉市場		64 頭
平成26年 2月 6日	第41回肉牛枝肉市場	甲州牛出荷組合研究会	68 頭
平成26年 2月 13日	第42回肉牛枝肉市場		55 頭
平成26年 2月 20日	第43回肉牛枝肉市場	豪雪のため休場	0 頭
平成26年 2月 27日	第44回肉牛枝肉市場		86 頭
平成26年 3月 6日	第45回肉牛枝肉市場	第3回センター主催共励会	88 頭
平成26年 3月 13日	第46回肉牛枝肉市場		77 頭
平成26年 3月 20日	第47回肉牛枝肉市場		80 頭
平成26年 3月 27日	第48回肉牛枝肉市場		53 頭
計			3,782 頭

# 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	377,584,376	流動負債	117,089,994
現金預金	174,327,700	受託販売未払金	49,383,318
受取手形	10,767,942	買付販売未払金	27,277,263
受託販売未収金	90,356,616	未払金	20,922,356
買付販売未収金	75,645,121	預り金	87,573
未収入金	5,539,836	未払費用	3,205,237
未収金	1,674,200	仮受金	2,447
立替金	624,900	賞与引当金	9,427,200
仮払金	19	未払法人税等	954,300
在庫商品	25,166,415	未払消費税等	5,830,300
貯蔵品(証紙)	1,045,540		
貸倒引当金	△ 7,563,913		
固定資産	178,947,307	固定負債	274,635,244
有形固定資産	127,879,035	長期借入金	61,345,781
建物	26,320,228	施設整備長期借入金	94,837,900
建物付属設備	20,886,706	退職給付引当金	12,786,486
構築物	4,130,184	長期リース債務	19,221,696
機械装置	55,615,656	預り保証金	41,500,000
車輛運搬具	681,816	預り保証証券等	44,943,381
工具器具備品	2,283,647		
リース資産	17,960,798	負債合計	391,725,238
無形固定資産	1,005,919		
電話加入権	154,000	純 資 産 の 部	
ソフト開発費	851,919	株主資本	164,806,445
投資	50,062,353	資本金	420,000,000
差入保証金	140,000	利益剰余金	△ 255,193,555
出資金	5,000	その他利益剰余金	△ 255,193,555
長期貸付金	4,973,972	繰越利益剰余金	△ 255,193,555
長期預り証券等	44,943,381	うち当期純利益	△ 21,118,083
		純資産合計	164,806,445
資産合計	556,531,683	負債・純資産合計	556,531,683

# 財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	377,584,376	流動負債	117,089,994
現金預金	174,327,700	受託販売未払金	49,383,318
受取手形	10,767,942	買付販売未払金	27,277,263
受託販売未収金	90,356,616	未払金	20,922,356
買付販売未収金	75,645,121	預り金	87,573
未収入金	5,539,836	未払費用	3,205,237
未収金	1,674,200	仮受金	2,447
立替金	624,900	賞与引当金	9,427,200
仮払金	19	未払法人税等	954,300
在庫商品	25,166,415	未払消費税等	5,830,300
貯蔵品(証紙)	1,045,540		
貸倒引当金	△ 7,563,913		
固定資産	178,947,307	固定負債	274,635,244
有形固定資産	127,879,035	長期借入金	61,345,781
建物	26,320,228	施設整備長期借入金	94,837,900
建物付属設備	20,886,706	退職給付引当金	12,786,486
構築物	4,130,184	長期リース債務	19,221,696
機械装置	55,615,656	預り保証金	41,500,000
車輛運搬具	681,816	預り保証証券等	44,943,381
工具器具備品	2,283,647		
リース資産	17,960,798		
無形固定資産	1,005,919		
電話加入権	154,000		
ソフト開発費	851,919		
投資	50,062,353		
差入保証金	140,000		
出資金	5,000		
長期貸付金	4,973,972		
長期預り証券等	44,943,381		
		負 債 合 計	391,725,238
資 産 合 計	556,531,683	差引正味財産	164,806,445



# 固定資産明細表

平成26年3月31日  
(単位:円)

資産の種類		期首簿価	当期増加額	当期減少額	償却前簿価	当期償却額	期末簿価
有形 固定 資産	建物	45,843,693	700,000	19,648,036	26,895,657	575,429	26,320,228
	建物付属設備	39,417,709	158,000	18,164,930	21,410,779	524,073	20,886,706
	構築物	6,517,171		2,239,468	4,277,703	147,519	4,130,184
	機械装置	89,406,282	1,748,420	34,481,003	56,673,699	1,058,043	55,615,656
	車輜運搬具	309,554	790,000	72,640	1,026,914	345,098	681,816
	工具器具備品	2,638,666	4,496,896	3,930,843	3,204,719	921,072	2,283,647
	リース資産	20,541,888	1,133,497		21,675,385	3,714,587	17,960,798
	計	204,674,963	9,026,813	78,536,920	135,164,856	7,285,821	127,879,035

無形 固定 資産	電話加入権	154,000	0	0	154,000	0	154,000
	ソフト開発費	1,174,728	240,000	0	1,414,728	562,809	851,919
	計	1,328,728	240,000	0	1,568,728	562,809	1,005,919

投資 等	差入保証金	140,000	0	0	140,000	0	140,000
	出資金	5,000	0	0	5,000	0	5,000
	貸付金	3,893,801	2,194,570	1,114,399	4,973,972	0	4,973,972
	長期預り証券等	45,243,381	0	300,000	44,943,381	0	44,943,381
	計	49,282,182	2,194,570	1,414,399	50,062,353	0	50,062,353

固定資産合計		255,285,873	11,461,383	79,951,319	186,795,937	7,848,630	178,947,307
--------	--	-------------	------------	------------	-------------	-----------	-------------

## 損益計算書

自：平成25年4月1日

至：平成26年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
売上高		
買付商品売上高	1,484,395,822	
受託販売手数料	112,306,265	
と畜場使用料	49,154,702	
と畜解体料	57,540,400	
冷蔵保管料	1,947,180	
内臓処理料	6,489,824	
枝肉加工収入	93,586,476	
集配料	13,513,110	
受取使用料	0	
営業雑収入	11,036,471	
受託事業収入	1,379,564	1,831,349,814
売上原価		
買付商品期首棚卸高	30,665,618	
買付商品仕入高	1,355,256,530	
買付商品期末棚卸高	25,166,415	1,360,755,733
営 業 収 益		470,594,081
営業費用及び一般管理費		
営業費用及び一般管理費	498,112,055	498,112,055
営 業 利 益		△ 27,517,974
営業外収益		
受取利息	548,586	
受取配当金	0	
雑収入	7,384,278	7,932,864
営業外費用		
支払利息	2,270,604	
他営業外費用	36,244	2,306,848
経 常 利 益		△ 21,891,958
特別利益		
受入補助金	82,998,059	82,998,059
特別損失		
固定資産圧縮損	78,536,920	
資産処分損	0	
長期借入金利息	3,150,764	81,687,684
税引前当期純利益		△ 20,581,583
法人税及び住民税		536,500
当 期 純 利 益		△ 21,118,083

### 営業費用及び一般管理費の内訳

自：平成25年4月1日

至：平成26年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
1 役員報酬	3,779,400	
2 給与	170,643,231	
3 雑給与	0	
4 賞与及び賞与引当金	40,460,857	
5 退職給付引当金繰入損	6,859,221	
6 法定福利費	35,657,795	
7 福利厚生費	1,925,088	
8 旅費交通費	8,915,140	
9 研修費	19,239	
10 消耗品費	16,491,799	
11 電算事務費	799,648	
12 通信費	1,843,837	
13 図書新聞費	238,975	
14 会議費	24,685	
15 交際接待費	0	
16 慶弔費	359,876	
17 広告宣伝費	40,000	
18 支払手数料	7,619,709	
19 諸税公課	5,839,832	
20 会費分担金	846,517	
21 出荷奨励費	29,113,469	
22 集荷推進費	3,109,450	
23 販売推進費	3,924,781	
24 集配費	27,142,526	
25 車輛維持費	6,157,947	
26 枝肉加工費	46,350	
27 包装資材費	19,202,450	
28 保険料	5,688,503	
29 修繕費	12,714,354	
30 環境衛生費	3,717,198	
31 汚水処理管理費	3,834,600	
32 水道光熱費	55,251,164	
33 賃借料	4,403,500	
34 リース料	3,935,196	
35 減価償却費	7,848,630	
36 会計基準変更時差異償却	6,000,000	
37 貸倒引当金繰入	883,000	
38 不良品	0	
39 貸倒損失	0	
40 寄付金	15,000	
41 雑費	2,628,528	
42 賞味期限切等商品原価	130,560	
合 計	498,112,055	

## 株主資本等変動計算書

自：平成25年4月1日  
至：平成26年3月31日

(単位:円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
		他利益剰余金		
前期末残高	420,000,000	△ 234,075,472	185,924,528	185,924,528
当期変動額				
当期純利益	0	△ 21,118,083	△ 21,118,083	△ 21,118,083
当期変動額合計	0	△ 21,118,083	△ 21,118,083	△ 21,118,083
当期末残高	420,000,000	△ 255,193,555	164,806,445	164,806,445

## 株主資本等変動計算書 (内訳)

自：平成25年4月1日  
至：平成26年3月31日

(単位:円)

	利益剰余金の内訳	
	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
前期末残高	△ 234,075,472	△ 234,075,472
当期変動額		
当期純利益	△ 21,118,083	△ 21,118,083
当期変動額合計	△ 21,118,083	△ 21,118,083
当期末残高	△ 255,193,555	△ 255,193,555

# 個 別 注 記 表

株式会社 山梨食肉流通センター

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### ○棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品貯蔵品:個別法による原価法で評価

### ○固定資産の減価償却の方法

#### 有形固定資産

建物は定額法、リース資産はリース期間定額法、その他は定率法

#### 無形固定資産

ソフト開発費は定額法

### ○引当金の計上基準

貸倒引当金:債権の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権について個別に評価し計上している。

賞与引当金:従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

退職給付引当金:従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく自己都合による当期末要支給額(中小企業退職金共済の支給額を除く)から会計基準変更時差異未償却残高を除いた額を計上している。

○収益及び費用の計上基準:発生主義により計上している。

○消費税の会計処理:税抜き方式で計上している

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 8,400 株

当事業年度末日における自己株式の数 0 株

## 3. 重要な後発事象に関する注記

会計基準変更時差異の償却 当期末 未償却残高 36,253,360円

# 監査報告書

私ども監査役は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第23期営業年度における、取締役の職務の執行を監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法の概要

監査役は、取締役会およびその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等閲覧し実査・証憑突合・照合等を行い、会計帳簿及び計算書類等につき検討を加えました。

## 2 監査の結果

- 1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表および損益計算書の記載と合致しているものと認めます。
- 2) 貸借対照表、損益計算書及び個別注記表は、法令および定款に従い、会社の財産および損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- 3) 営業報告書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 4) 株主資本等変動計算書は、法令および定款に適合し、かつ、会社の財産の状況その他の事情に照らし、指摘する事項は認められません。
- 5) 取締役の職務遂行に関する不正の行為、または、法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
- 6) 債権保全のための与信管理を今後も体系的に実施していくことが望まれます。
- 7) 各階層の職員に対する教育訓練により、マネジメント能力や各種技能のレベルアップによる生産性の向上を図ることが望まれます。
- 8) 第3期中期経営計画の必達目標達成に向けて、ISO22000 認証取得により確保される食の安全を背景として、今後も販売力の強化に取り組むことが望まれます。

平成26年 6月 11日

株式会社 山梨食肉流通センター

監査役

保坂直樹



監査役

渡邊重也



監査役

磯部芳彦

